

一般社団法人日本薬学生連盟 2023年度補欠選挙立候補申請書

立候補者氏名	馬越 春莉
立候補する役職	副会長
大学/学部/学科	東京薬科大学 薬学部
学年	1年
所属	外務部/交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2021年 外務部、交換留学委員会 所属
立候補動機	<p>私は現在、3つの企画の企画長を任せていただいております。この経験を経て、挑戦することの重要性や、様々な意見に触れ、自分なりに考えることの必要性を学びました。以前は、意見や疑問を出す側に立つことが多く、自分の視点からしか考えることができていませんでした。しかし、自分がまとめる立場に立ったことで、それぞれの意見に利点と欠点があり、その兼ね合いを考慮しながら慎重に決定を行わなければならないことに気が付くことができました。このように、普段身近に存在する役割で、十分に知っているように感じて、自分が実際に挑戦してみて初めて見える視点や考え方があると思います。「副会長という役職に挑戦することで多くの意見や経験に触れ、新たな視点から団体に関わり、団体を活発化したい」というような強い思いをもち、私は副会長に立候補いたします。</p>
問題点と改善案	<p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none">・所属していない部署、委員会についてスタッフ会員が知る機会が少ない・意見の偏り・企画開催時の参加者人数が少ない・低学年のスタッフの減少 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none">・スタッフ交流会の計画 自分が所属していない部署、委員会の活動について、スタッフ会員は知る機会が少ないと感じております。他の部署や委員会の活動を知ることで、興味のあることを見つける機会を増やし、視野を広げることができると考えられます。企画重複することへの不安削減やそれぞれの部署、委員会の役割を知ることによる企画提案の行いやすさにも影響を与えると推測されます。また、スタッフ内のコミュニケーションをとる機会をつくることで、学年に関係なく、皆が意見を出せる雰囲気を作り出したいと考えております。また、団体を活発化するためには、どの学年にも積極的に参加していただき、それぞれの学年からの視点を知ることが大切です。様々な人の意見を聞くことで多くの気づきを得ることや一度振り返るきっかけを作ることができます。しかし、様々な人の意見に耳を傾け、話が進まなくなる可能性が挙げられるため、適切に状況を判断しながら環境を整えていきたいと考えております。・企画に参加しやすい環境を作る 企画開催時の参加人数の増加や低学年スタッフの増加を達成するためには、まず、多くの薬学生に、企画に参加していただくことが必要です。企画に参加しやすい環境を作るための具体案としては、参加時の不安削減のため、広報文によるできる限りの情報提示をすることが挙げられます。タイムスケジュールや企画の目的等を明記することにより、参加を決める際の疑問点の減少に繋がり、ハードルを下げるができるのではないかと考えております。・企画の振り返りの強化 企画参加者人数を増加させるためには、多数派に寄せることが重要です。例えば、広報を行う際や企画を考える際、どのような言葉を調べる人が多いのか、薬学生が何を必要としているのか等を理解することで広報文や企画の作成を工夫することができると考えられます。これを行うためには、過去の企画からデータを得ることが必要です。そして、より良い分析を行うためには様々な視点から見る必要があり、部署や委員会の枠を超えて共有するべきだと考えています。私は部署や委員会をつなぐことも、副会長の役割として考えております。

<p>活動計画</p>	<p>【前期】 1年間の活動方針の決定、年間スケジュールの作成 各部署、委員会引継ぎ後の確認 新入生歓迎会 準備</p> <p>【後期】 前期活動の分析・分析に基づく後期スケジュールの見直し 薬学生ジャンボリー 準備 年会 準備</p> <p>【通年】 各部署、委員会、個人の把握 本部ミーティング 問題発生時の対応 書類作成</p>
<p>所信</p>	<p>私は「自分にできることを探し、自ら行動すること」を常に心掛けています。自分ができないことや苦手なことに目を向け、努力していくことも大切だと思います。しかし、逆に現時点だからできる気づきや、持つことのできる疑問があることを忘れてはいませんか。</p> <p>例えば、薬学部1年生にはほとんど医薬品に関する知識はありません。確かに、薬学生としての能力は低いかもしれません。しかし、学年が上がり知識が増えるにつれ、患者目線からは遠のくこととなります。初めて医薬品を見たとき、何を感じたか、どこまで医薬品について理解できていたか、それを覚えていますか。この感覚は二度と自分自身が体験することはできません。私はこのような、今だから感じられることや自分だからできることを探し、書き留めるよう、普段の日常生活から意識して取り組んでおります。この考え方を強みとして団体に関わっていきたいと考えています。</p> <p>私は本部経験もなく、周囲の役員の方々より経験が浅いことは理解しております。それが欠点となってしまう部分もあるかとは存じますが、利点として捉えていただけるような行動や意見出しを心掛け、精進してまいります。</p>